

外国人ならではの視点と持ち前のスキルで、世界中の人たちに銘酒「国稀」を届けたい。

CASE 01

COMPANY

国稀酒造株式会社



企業概要

- 企業名: 国稀酒造株式会社
- 所在地: 北海道増毛郡増毛町稲葉町1丁目17番地
- 設立年: 1882年
- 資本金: 1,200万円
- 従業員数: 40名
うち高度外国人材2名 [国籍内訳: 台湾2名]
- 業種: 製造販売業
- ホームページ: <https://www.kunimare.co.jp>

事業内容

明治15(1882)年より現在地で醸造業を営む。大正期に誕生した代表銘柄「国稀」をはじめとする日本酒、酒粕を原料とした焼酎、リキュール、発泡酒の製造から販売までを行う。10年前から輸出に力を入れている。

企業担当者



代表取締役社長
林花織氏

高度外国人材を受け入れた背景

海外の販路が増えるにつれ、外国人材が必要になりました

日本酒の国内消費量は、残念ながら減少の一途をたどっています。そのため、10年ほど前からアジアを中心に輸出を始めました。まずは私一人に対応していたのですが、輸出先が増えるにつれ、それも難しくなってきました。そんなとき、取引銀行から高度外国人材の情報を聞き、2020年、北海道大学大学院を修了した中国人を雇用しました。とても優秀で、2年間、頼もしい戦力として活躍してくれましたね。

高度外国人材受け入れにあたっての取組内容

ジェトロの外国人材活用支援パッケージを利用しました

中国人社員にとっても助けられたので、また一緒に海外の販路拡大に取り組んでくれる社員を採用したいと考えました。そこで、ジェトロの「外国人材活用支援パッケージ(伴走型支援)」に申し込んだのです。専門相談員との面談を重ねて、サポートを受けながら採用活動を行ったところ、うれしいことに1名の採用枠に世界中から40名を超えるエントリーがありました。

高度外国人材採用における課題

高度外国人材の活躍を知る企業がまだ少ないのかもしれない

ジェトロの適切なサポートのおかげで、幸いにも、高度外国人材の採用に課題は感じませんでした。採用活動を進めるなか、社員たちの不安の声もありませんでした。もしかすると、弊社のある増毛町は漁業と水産加工が盛んで、たくさんの技能実習生が働いていますので、外国人には慣れているのかもしれないですね。

最終選考には2名が残りました。ふたりとも人当たりが良く、対応力もあ

り、一緒に働きたい人材でしたが、採用は1名のつもりでしたので、泣く泣く1名を諦めようとしたとき、ふたりの話からじつは夫婦だとわかります。弊社と一緒に働けなくても、同じまちで働きたいと言うので、増毛町内の仕事を探しました。ところが、高度外国人材のニーズがないのか、採用方法が知られていないのか、求人は見つかりません。そこで、思い切ってふたりとも弊社で採用したのです。

高度外国人材受け入れに関する課題と解決策

活躍できるように、コミュニケーションと住環境を改善しました

はじめの受け入れのとき、忙しくて中国人社員と話し合う時間をなかなかもてませんでした。しかし、それでは優秀な人材の活躍の機会を狭めると考え、今は、コミュニケーションを大切にしています。仕事でも生活でも気になることがあれば、何でも相談してもらおうようにしています。雑談も活発ですよ。ふたりと話していると、日本の習慣が海外では当たり前ではないこともあると実感します。私の常識も会社の常識も

どんどんアップデートしたいですね。

ふたりとも会社の雰囲気や増毛町の自然環境をすごく気に入ってくれています。長くいてほしいから、やはり住環境が重要と考え、社員寮の改善を進めています。まず、Wi-Fiを使えるようにしました。あとは、昨年の夏には湿気のせいでカビが生え、この冬は暖房器具が故障するというトラブルがあったので、全室にエアコンを設置します。

高度外国人材受け入れ後の変化

SNSの情報発信と輸出業務の効率アップで、輸出は堅調です

変化のひとつは、SNSの情報発信です。ほとんど更新できていませんでしたが、楊さんが専任となったことで、日本語・中国語・英語の3カ国語で国内外向けに定期的に情報発信ができるようになり、フォロワーや閲覧数が大きく伸びました。もうひとつは、輸出に関する事務処理のスピードアップですね。謝さんは海外商社での経験があるので、非常に助かっています。そのほか、他部署の業務である直営店での接客や食品・飲料

展示会への出展、百貨店の物産展などへの出店にもサポートに入ってもらっています。おかげでふたりを通じた部署間のコミュニケーションが円滑になりました。

これからは、新商品の開発にも外国人ならではの視点を活かしてほしいですね。そうすれば、弊社の輸出量の割合を現在の4～5%から10%まで引き上げるといった目標も、実現できると期待しています。

高度外国人材社員インタビュー

INTERVIEW

北海道の銘酒「国稀」を 世界中に広めたいです。



楊 詠晴(ヨウユンチン) 氏

国籍:台湾 2023年4月入社



謝 駿達(シャジュンダ) 氏

国籍:台湾 2023年4月入社

取り組んでいる業務内容

楊 | SNSを担当していて、FacebookとInstagramでは日本語・中国語・英語で、国稀の商品やイベントの情報を発信しています。いまは、酒造りの全工程を動画配信しようと企画中です。

謝 | 海外の取引先との連絡を任せられ、見積書や請求書の作成や翻訳をしています。台湾企業とのコラボ企画をいくつか手がけていて、弊社の酒粕を使用したお菓子を開発しました。

入社理由

楊 | 北海道に住みたいという思いが強く、東川日本語学校に留学しました。在学中、ジェトロ主催の合同企業説明会で国稀酒造を知り、仕事内容に興味をもち、入社を決めました。

謝 | 台湾の商社で働いていたとき、接待で日本酒を飲んでいたので、弊社に興味をもちました。社内の雰囲気が良く、国際部の仕事は前職の経験が活かせるから、入社を決めました。

今後のキャリアプラン

楊 | もともとはお酒が得意ではなかったので、入社してから日本酒のおいしさを知りました。より多くの人たちに、北海道の日本酒の魅力を知ってほしいです。そのためにも、PRのテクニックをさらに学び、国稀のブランド名と商品を日本全国、世界中に広めていきます。

謝 | 弊社が私たちに期待しているのは、日本人と同じように考え、行動することではありません。日本人とは異なる外国人の視点と、多言語を繰る語学力です。それを活かし、とくに海外での国稀の認知度と人気を上げて、さらなる市場の拡大を図りたいと考えています。